

# 名寄市立大学 図書館だより

2017年10月23日  
Vol.1



名寄市立大学図書館長  
小野寺 理佳

## 大学図書館という「空間」

今や、オンラインで入手可能な学術情報は増える一方であり、インターネット環境があれば、図書館資料の検索も場所を問わない。レファレンスサービスも、場合によっては、メールのやりとりで可能である。このように、図書館に足を運ばずとも足ることが増えた状況において、大学図書館は学生にとってどのような「空間」であるべきなのだろうか。

館内の様子を見てこのようなことを考えていたところ、興味深い記事を偶然目にした。アメリカの大学図書館による図書館空間に関する調査を紹介する記事（Current Awareness Portal, No.313, 2016, 武田和也, E1853 学生が求める図書館空間に関する調査（米国）＜文献紹介＞ <http://current.ndl.go.jp/e1853>）である。これによれば、学生・大学院生を対象とする調査の結果、①全般的に、個人で学ぶための静かな空間を求める傾向が強いこと、さらに、②図書館の利用頻度が高い学生は個人用エリアを、利用頻度が低い学生はグループ用エリアの利用を好んでいること、③館外で勉強している学生は図書館に対して「遠さ」を感じており、交流の場としての機能が欠如していると認識していること、④個人用のパソコンを所有していても、多くの学生はコンピュータやオンラインリソースを利用するために来館していること、などが明らかになったということである。

これらの調査結果をただちに本学図書館に当てはめて考えることは勿論しないが、得られる示唆は多いと思われる。本学の場合、新しく設置されたラーニング・コモンズに注目が集まっているところであるが、図書館はいろいろな性質の「空間」の集合体であることを忘れてはならないだろう。学生は、どのようなときに、どの「空間」を、どのように利用したいのか。どのような学生が、どの「空間」について、どのような使いにくさを感じているのか。利用状況を見極め、利用者の意見を聴きながら、本学の図書館が、学修支援と快適さの両方を提供できる魅力的な「空間」となるようつとめていかなければならないと考える。

# 図書館情報

## ガイダンス実施中です！

毎週火曜日の午後から基礎演習の時間に図書館棟1階パソコン室で図書館の基本的な利用案内の説明と図書館利用で重要な学内蔵書検索（OPAC）の検索方法について学んでもらっています。また学生それぞれの利用者サービスの方法も確認してもらっています。その後図書館に移動し、簡単な図書館案内なども行っていますので図書館内が多少騒がしくなることがあるかと思いますが、ご了承をお願いいたします。



## 今年も開催！図書館図書選書ツアー！

図書館では毎年、学生の皆さんに直接図書を選書してもらう、図書館選書ツアーを行っています。今年も10月22日（日）にジュンク堂旭川店にて行いました。

選書された図書は、参加してくれた学生さんによるPOP（本の紹介文）とともに展示いたします。選書された図書の情報、選書ツアーの様子については今後、図書館 facebook にてお知らせいたします。



# 新図書館の基本コンセプト

## 知的活動が見える、大学のシンボル

学生が学修する場であり、大学の研究成果を発表・広報する場となる図書館。活気のある学修の場が外部からよく見える構成とし、学習意欲を高める環境を用意しています。

## 交流が生まれる空間

1F ラーニング・コモンズ、2F 開架スペースはアクティブ空間として、学生同士・学生と教員・異なる学科間など、様々な交流が行える空間を用意しています。

## 利用しやすい学修空間

1F・2F をアクティブ空間に、3F を静寂空間とし、フロアで差別化することで誰もが利用しやすい学修環境を創っています。

# 図書館フロアガイド

## 1F ラーニング・コモンズ

アクティブラーニングのための空間。本学関係者のみの利用スペースとなります。

グループ学習室 A・B、プレゼンテーションスペースは、予約制ですが空いていれば予約なしでも利用 OK です。

予約申込は図書館カウンターまで。

## リフレッシュルーム

ちょっとブレイク♪

軽食ならば食べても可能なスペース。



## グループ学習室 A・B

独立した部屋で、グループワークのためのスペース。



## プレゼンテーションスペース

プレゼンテーションのための機器や設備が整備されています。



## サークルユニット

電子ホワイトボード機能を搭載した BigPad を使用して学修ができます。



入館ゲートを通るとき、退館するとき、図書を借りるときに学生証が必要です。

## 2F カウンター・開架スペース

### 入退館ゲート

学生証をかざしてください。  
忘れた時は一声かけてください。



### コピーコーナー

館内の資料のみ利用できます。  
持込資料のコピーは不可です。



### 閲覧席



### AVコーナー

館内にあるDVD・CDを視聴することができます。



### 自動貸出機・検索端末

必要な資料をさがすことができます。  
貸出手続きができます。



### ブラウジングスペース

くつろぎの空間です。



### 閲覧席



## 3F 開架スペース

### 検索端末

必要な資料をさがすことができます。



### 国試対策コーナー

各学科の国試対策の本が配架されています。  
最新版は禁帯出です。



### 雑誌架

1年分の雑誌を配架しています。  
バックナンバーは雑誌架後ろの棚に配架されています。



# 定期購読雑誌案内

本学では、年間およそ 200 誌の雑誌を購入しています。

そのなかから、みなさんに活用してもらいたい「雑誌」についてほんの一部ですがご紹介します。

## 栄養系の雑誌

### 『栄養と料理』



昭和 10 年に創刊した「食と健康」がテーマの雑誌。紹介されている料理すべてに、エネルギー (kcal) と塩分、栄養成分値が表示されていてとても便利。

### 『ヘルスケア・レストラン』



食事サービス全般を考える実践情報誌。栄養ケア・マネジメントの動向など、新しい情報や話題の情報が多く掲載されており、管理栄養士・栄養士を目指す学生向けの必読誌。

### 『栄養学レビュー』



世界の栄養学の最新情報を収録した『Nutrition Reviews』の翻訳本。最新の栄養学の知見を学べる。

### 『食育フォーラム』



学校給食の専門誌です。食育実践の事例や、自ら学ぶ給食にすぐ役立つ資料・教材づくりの資料など、栄養教諭の実務に向けて役立つ内容が豊富に掲載。

### 『学校給食』



給食現場に役立つ知識や献立、食育の取り組みや食の最新情報がたくさん掲載されている、学校給食の専門誌。食育実践に生かせるイラストや資料は、インターネットでダウンロードが可能。

### 学会誌

- 『日本栄養・食糧学会誌』
- 『栄養学雑誌』
- 『日本臨床栄養学会雑誌』
- 『日本栄養士雑誌』

### 洋雑誌

- 『Journal of Agricultural and Food chemistry』
- 『The Journal of Nutrition』
- 『Appetite』

この他 『食生活研究』 『栄養教諭』 など、気楽に読める雑誌から、専門的なものまで揃っています。

## 看護系の雑誌

### 『エキスパートナース』



話題のテーマや最新情報を取り上げた特集や臨床で役立つ情報が掲載。実際の現場で注意しなければならない薬品や器具の取扱い、ケアの方法などが具体的に示されているので、ナースの身近な問題を解決してくれる雑誌。

### 『WOC Nursing』



WOC（創傷、オストミー、失禁）予防、治療・ケア初のWOCケア専門誌。  
創傷ケア、スマートケア、失禁ケアに携わる人が本当に知りたいスキル、知識、情報が掲載されている雑誌。

### 『ブレインナーシング』



創刊 32 年目。脳神経疾患の専門誌。必須の知識をわかりやすく解説した特集と、知識を広げる第 2 特集。脳神経疾患や最新治療、ケアの方法など、専門知識を豊富に掲載。図解が見た目にもわかりやすい雑誌。

### 『エマージェンシー・ケア』



今年、創刊 30 周年。救急看護を勉強するための実践的な雑誌。フィジカルアセスメントなどの救急医療、看護に必須の知識、技術はもちろん、ガイドラインなどの最新情報も網羅した救急医療についての専門誌。

### 『薬理と治療』



「薬理と治療」誌掲載の論文紹介。  
薬物治療や臨床試験に関する研究レポート及び医薬品のプロファイルを中心とする専門誌。

### 学会誌

日本看護学教育学会誌  
日本老年医学会雑誌  
日本小児看護学会誌  
日本がん看護学会誌  
日本新生児看護学会誌

### 洋雑誌

Advances in Nursing Science  
American Journal of Nursing  
Midwifery  
NURSING OUTLOOK

看護系の雑誌は、小児・老年・助産・精神・地域保健・・・など分野によって分かれています。

その他『臨床老年看護』『保健師ジャーナル』『母性衛生』『緩和ケア』『日本糖尿病教育・看護学会誌』など 70 誌ほどあります。

『月刊 福祉』



社会福祉の新しい方向を探り、実践例などを紹介。福祉関係者必読誌。

『地域リハビリテーション』



「リハビリ」「地域」「生活」をキーワードに特集を組んでいる総合情報誌。

『ふれあいケア』



介護実践に役立つ専門知識や技術の情報を紹介。



『精神科臨床サービス』

臨床の実践の場で知りたいこと、行いたいこと、学んでもらいたいことを基本に、日常の臨床に役立つ実践的な知識、情報を掲載している、福祉と医療を結ぶ専門誌。



『ノーマライゼーション』

各省庁の障害者施策情報、全国での実践例の紹介、生活情報や国連をはじめとする世界の動きなどを紹介する、障害者福祉の総合誌。

『特別支援教育の実践情報』



特別支援教育の実践をより良いものにするため、最新の動向を掲載している機関誌。アイデアあふれる授業実践も掲載されているのでとても参考になる。

学会誌

- 『発達障害研究』
- 『貧困研究』
- 『社会福祉学』
- 『障害学研究』

洋雑誌

- 『Journal of Social Policy』
- 『Social Policy and Society』

この他『さぽーと』『賃金と社会保障』『子どもの虐待とネグレクト』『季刊公的扶助研究』など、総合的な雑誌から特定の分野に関する雑誌まで揃っています。

## 社会保育系の雑誌

### 『保育のひろば』



実技を中心とした月刊保育総合誌。壁面飾り、手作りカード、毎月の製作のほか、乳児のおもちゃ・シアターなどを掲載。日常保育にすぐ役立つ内容の雑誌。

### 『ピッコロ』



保育を楽しむアイデア満載の雑誌。季節や行事に合わせたかわいい壁面飾りや子どもたちが楽しめる行事製作、誕生会や行事で使えるシアターやあそび歌などすぐに役立つアイデア満載。

### 『新幼児と保育』



0歳児から5歳児までのすべての子どもに関わる保育者を対象とした総合保育誌。

### 『月刊ピアノ』



J-POP曲やCM・映画で話題の曲などピアノで弾いてみたい曲の楽譜がいっぱいの雑誌。毎月17曲前後、ソロ・連弾、ハ調のやさしいソロアレンジと多彩な楽譜が掲載のピアノ情報誌。

### 『発達』



1980年創刊の機関誌。2013年に内容をリニューアル。保育、発達心理を中心に、今知っておきたいトピックを紹介した特集や連載が充実している雑誌。

### 『エドゥカーレ』



保育園・幼稚園の様々な話題・悩みについての情報が満載。保育のことがたくさん学べる保育雑誌。

社会保育系の雑誌は3階雑誌架に配架されています。

その他『児童養護』『保育情報』『保育問題研究』『人間と教育』など実習で役立つ情報から専門的な分野まで揃っています。

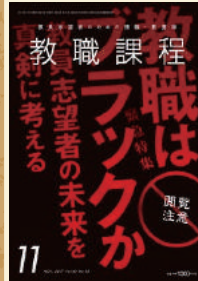


『教員養成セミナー』



教員採用試験を受験する人のための学習&情報誌。教職・一般・専門教養の学習から、論文、面接対策の極意、効率的な学習方法、合格者体験談など役立つ情報がたくさん掲載。

『教職課程』



全国の教員採用試験情報出題傾向、新教員トピックの解説など、教員採用試験合格のために欠かせない情報が掲載。試験対策以外のコラムも充実。教師を目指す人を完全サポートする教員志望者のための情報・教養誌。

『授業づくりネットワーク』



先進的な授業、楽しく一味違った授業の事例、紹介等、ノウハウが満載。総合学習の情報誌。

『暮らしの手帖』



NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」で再注目された雑誌。毎日の暮らしを豊かに、そして美しくする。情報が豊富な雑誌。

『スロウ』



北国の暮らしや人、モノなどを見つめ直し楽しむための雑誌。これまで光の当たらなかった北海道の本当の魅力が詰め込まれている。心豊かに楽しく生きていくためのヒントがいっぱい。

その他

- 『法学セミナー』
- 『ニューカントリー』
- 『国民生活研究』
- 『経済セミナー』
- 『うかたま』

この他にも、まだまだたくさんありますので、学生のみなさん、図書館に来てご一読ください。

編集後記

新図書館がオープンしてから半年が過ぎました。雪景色だった新図書館周辺も気が付くと紅葉がとてもきれいな景色へと移り変わりました。食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋!! 秋の夜長、お気に入りの本を探しに図書館へいらしてください。M

図書館だより 2017年第1号

2017年10月23日発行

名寄市立大学図書館運営委員会

名寄市立大学図書館

〒096-8641 名寄市西4条北8丁目1

<http://webopac.nayoro.ac.jp/>

